

総務 常任委員会

複合施設整備事業はスライド条項に対応する可能性がある

議案第8号「白河市職員の退職手当支給に関する条例等の一部を改正する条例」のほか、議案13件が付託され、いずれも原案の通り可決されました。

● 議案第35号 令和6年度白河市一般会計補正予算（第8号）（複合施設整備事業）

複合施設整備事業の総額が68億178万7千円から5億1,883万3千円増額

Q | その要因と今後の事業費増額の可能性は？

A | 全国的な傾向として、原材料および製造・輸送コスト増による資材価格の高騰や人手不足に伴う人件費の上昇により、事業費の増加につながっている。

また、今後の事業費増額の見込みについては、受注者との協議によるが、長期間の工期を踏まえると、今後の賃金や物価水準等の急激な上昇によるスライド条項に対応する可能性がある。

※スライド条項とは・・・工事の契約締結後に賃金水準や物価水準が変動し、その変動額が一定程度を超えた場合に、請負代金額の変更を請求することができる規定。

令和9年度までの事業費総額73億2,062万円

Q | 事業費予算の財源の内訳は？

A | 財源内訳は、現時点での予定として、

・ 国からの補助金（国庫支出金）	21億1,851万円
・ 市債（合併特例債等）	38億2,420万円
・ 基金（公共施設整備基金）	13億7,791万円



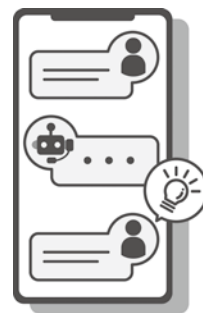
複合施設
「市民交流スペース」イメージ図

● 議案第24号 令和7年度白河市一般会計予算（広報広聴事業関係費）

AIチャットボット導入事業

Q | 事業概要は？

A | メール等による市への問い合わせが1カ月に約100件届いているが、そのうちの半数程度が市役所閉庁時間に送信されている。また、問い合わせの内容が、ホームページに掲載されている場合もあるため、利用者が時間を問わず必要とする情報を速やかに取得できるよう、ホームページにLINEでも利用可能な対話型のチャットボットを導入する。



● 議案第24号 令和7年度白河市一般会計予算（基幹業務系システム管理事業）

事業費3億4,582万7千円

Q | 昨年に比べ、事業費が倍以上増額しているが、その要因は？

A | 法律に基づき、窓口の業務システムを全国一律の仕様に改修し、庁舎内で管理しているデータを国のクラウドへ移行するための必要経費を計上している。なお、財源については国からの補助や交付税措置がある。

大河ドラマ「べらぼう」を活用した観光のPRを行う

松平定信公が主要人物として登場していることから、観光誘客のため、ドラマ展やイベントを開催する議案第24号「令和7年度一般会計予算」のほか3件が付託され、いずれも原案のとおり、決されました。

● 議案第24号 令和7年度白河市一般会計予算 雇用促進・移住者の増加を図るため

Q | サテライトオフィス推進事業の概要について

A | テレワーク可能な施設を市内に設置する際に必要な費用の一部を補助する事業であり、補助率は1/2、補助上限額200万円である。これまでの実績は、令和4年度2件、令和5年度1件、令和6年度1件である。

大河ドラマ「べらぼう」を活用した観光PR事業

Q | 大河ドラマ「べらぼう」連携事業の今後の事業の流れについて

A | 7月から9月にかけて小峰城歴史館でドラマ展を実施し、その後は、図書館でNHK主催の巡回展と、小峰城歴史館で定信展の実施を予定している。



さだのぶくん

地域公共交通総合連携事業

Q | 「タクシー移動支援補助金」の概要について

A | 社会状況の変化に対応した公共交通のあり方を地区ごとに調査・検証するため、新たに「定率タクシー」の実証実験を行うものであり、実施時期については、市街地、五箇・関辺地区は8月から10月までの3ヶ月間、小田川・大沼・白坂・旗宿地区と表郷・大信・東地域は10月から3月までの半年間を予定している。各地域から市街地までの、タクシー料金の1/2を補助するもので、実証期間中の利用回数に上限はなく、利用者は事前に登録手続きをしていただく。



教育福祉 常任委員会

白河グリーンフィールドを整備

議案第24号 令和7年度白河市一般会計予算のほか10件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第39号 令和6年度白河市介護保険料特別会計補正予算（第3号） 包括的支援事業

Q | 包括的支援事業・任意事業費で、成年後見利用制度支援事業助成金の詳細は

A | この事業は、市長申し立てにより成年後見等の審判を受けたのち、申し立て費用や後見人等に報酬を支払えない場合に、市が報酬等を助成する事業。

● 議案第24号 令和7年度白河市一般会計予算 体育施設改修事業

Q | 体育施設改修事業で白河グリーンフィールドの整備場所の選定の経緯は

A | 複数の候補地から検討を行い、県南地域の中心であり、市内で一番多くサッカーでの利用がされていることなどを総合的に判断して、表郷総合運動公園に整備するものである。県南で初めてとなる、サッカー競技を中心とした多目的に利用可能な人工芝のグラウンドを整備する。

認知症施策推進事業

Q | 認知症施策推進事業で事業委託料の詳細について

A | 認知症の方が行方不明になったときに、SOS協力者などに捜索を協力して頂いてきたが、協力者が仕事の場合には対応できないなど課題があった。高齢者が普段身に着けている衣服や靴、持ち物などに、身元情報を登録した「QRコードシール」を貼っていただき、QRコードを読み取ることで早期発見や保護につなげられるようにする事業。

市営住宅の入居基準を緩和し入居機会の拡大を図る

議案第16号「白河市営住宅条例の一部を改正する条例」のほか議案13件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第15号 白河市道路構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Q | 自転車通行帯の設置を予定している路線はどこか

A | 自転車ネットワーク対象路線の中から自転車通行帯幅員1.5mを確保出来る路線で検討し、最終的には公安委員会が決定する。

● 議案第16号 白河市営住宅の一部を改正する条例

Q | 子育て世帯の入居要件が緩和されたが、単身世帯の収入基準緩和は無いのか

A | 単身世帯の入居基準に変更は無い。

● 議案第24号 令和7年度白河市一般会計予算

住みよい街づくり事業

Q | 工事請負費の内訳は

A | 緊急道路照明施設更新事業の舍利石トンネル道路照明施設更新工事やしらかわセーフロード事業の側溝改修工事と緊急道路法面对策事業の市道細倉線道路法面改修工事である。

セーフロード事業
市道「細工町立石線」



施 工 前



施 工 後

道路改良事業（市道大谷地長坂線）

Q | 事業の完了予定はいつか、また、事業終点は何処になるのか

A | 令和8年7月頃の完成を予定している。また、終点は白河市と西郷村の境となる。

企業応援社員住宅整備事業

Q | 企業応援社員住宅整備事業とは何か

A | 石久保市営住宅等の一部を、企業向け社員向け住宅として居住環境を整備し、企業の雇用促進を支援する。



● 議案第32号 令和7年度白河市水道事業会計予算

漏水による水道料金の減免

Q | 漏水の主な原因は何か。また凍結防止対策についての広報は行っているのか

A | 漏水の原因は給水管の老朽化が多い。また、凍結防止対策の広報は毎年行っている。